

# 地域再生計画

## 1. 地域再生計画の名称

とびだせ 由布の地域力！ ～由布市未来雇用創造プロジェクト～

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

由布市

## 3. 地域再生計画の範囲

由布市の全域

## 4. 地域再生計画の目標

### (1) 由布市の現状

#### ①地区の概況

由布市は、挾間町、庄内町、湯布院町が平成17年10月1日に合併して誕生した東西24.7km、南北23.4kmにわたる、面積319.16km<sup>2</sup>、人口35,393人(平成17年度国勢調査人口)の市である。大分県のほぼ中央に位置し、北は宇佐市と別府市、南は竹田市、東は大分市、西は玖珠郡(玖珠町と九重町)に隣接している。交通は市民が日常利用する国道210号及びJR久大本線を幹線とし、大分自動車道や広域農道、広域林道などの整備により交通の要所、大分県中部の産業経済の交流の地として発展している。

#### ②自然条件

由布市は、恵まれた自然とそれを活かした地域資源の宝庫であり、北部から南部にかけては、由布岳や黒岳など1,000m級の山々が連なり、それらを背景にした棚田は日本的な田園風景として観光客の人気を集めている。由布岳の丘の麓には標高約450mの由布院盆地が形成され、中央部から東部にかけては、山麓地帯と大分川からの河岸段丘が広がっている。急峻な地形から湧き出る水は、美しくおいしいだけでなく、庄内男池や由布川峡谷などの景勝を創り出している。複雑な地形ゆえ、挾間、庄内、湯布院の地域ごとに気象条件が大きく異なることも由布市の特徴である。温泉も豊富で、湯布院はもとより、庄内のほのぼの温泉や、はさま八湯など、全域で多様な温泉を楽しむことができる。

### ③産業

由布市の産業については、旧3町ともかつては農林業が基幹産業であったが、近年は多様化している。農業では、各地の気象条件に合わせて果樹、野菜の栽培や畜産などが行われており、特に庄内地域で栽培されている梨は、県内2位の生産量を誇る。湯布院地域は、年間400万人が訪れる日本を代表する観光地として現在も発展中であり、挾間地域は隣接する大分市のベッドタウンとしても開発が進み、大型商業施設等の進出により商工業が発展している。このような中、現在農林業は、高齢化や後継者の減少で生産力の低下が進んでおり、新規就農者や担い手の育成確保が急務になっている。また、商工業や観光においても、長引く経済情勢の低迷の中で安定的な経営の継続が厳しい状況にある。

### (2) 地域再生の意義・目標

今後の由布市を元気な活気の満ちた市として発展していくためには、多くの住民が市内で生き生きと働いていける場をつくり、雇用の創出を図っていくことが必要である。由布市は、農業・商工・観光のそれぞれの特色を持つ3地域が合併して生まれた市であり、これらの産業の相互連携により、由布市としての一体感を醸成し、更なる地域の活性化につなげていきたい。

本事業の意義は、地産地消と特産品ブランド化をテーマにして、由布市固有の財産である全国レベルの湯布院観光や神楽と相まって、全国、世界も視野に入れた産業振興とそれにつながる人材の育成を図ることである。そのために、本事業に参加した市民一人一人の主体性が発揮でき、たがいに切磋琢磨できる環境をつくり、由布市の産業発展に寄与する人材を育成し、今後の地場産業の振興、地域雇用の拡大、地域経済の活性化につなげていくことを目標として進める。

### (3) 目標数値

- ・地域雇用創造推進事業(パッケージ事業)による雇用創出:164人
- ・地域雇用創造推進事業(パッケージ事業)による創業者:8人

## 5. 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

農業・商工・観光の連携を実現し、由布市全体が活性化していくために必要となる人材を育成する。また、6次産業化により付加価値を地元企業が必要としている人材を育成することで、雇用の促進を図る。講座の内容については、地元企業と協議・調整のうえで決定し、即戦力として働ける人材を育成する。

## 5-2 法第五章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 地域再生計画の認定に基づき受けようとする支援措置

#### I 地域雇用創造推進事業(新パッケージ事業)【B0902】

##### (1) 実施主体

由布市地産地消・特産品ブランド化推進協議会

##### (2) 構成団体

由布市、大分県農業協同組合(本店、さわやか地域本部)、湯布院町商工会、庄内町商工会、挾間町商工会、由布院温泉観光協会、庄内町観光協会、由布川溪谷観光協会、湯布院塚原高原観光協会、由布院温泉旅館組合、湯平温泉旅館組合、指導農業士、特産品販売所連絡協議会

##### (3) 実施を希望する期間

平成22年度～平成24年度

##### (4) 行おうとする主な事業

###### 1) 雇用拡大メニュー

由布市の独自製品の開発・販売や営業力の向上を希望する企業等に対し、産業振興のために必要となる地域産品を活用した商品開発や販売戦略、農業生産者の法人化等の講座を開催し、学習の機会を提供することにより、経営の安定化と地域の雇用創出を図る。

###### 2) 人材育成メニュー

###### ○観光地由布院と農業と地場の食品加工企業との連携＋農村ツーリズム

農業・商工・観光の連携を実現し、由布市全体の活性化を進めていくため、農村ツーリズム研修会、地産地消研修会、農産加工品研修会、楽しい農業研修会、流通戦略研修会を開催して地域活性化の担い手となる人材育成を行い地域の雇用創出につなげる。

## ① 農村ツーリズムセミナー

### イ 事業内容

農村ツーリズムの企画・運営に必要な農家民泊や農業体験サービスに関するノウハウや知識を習得するためのセミナーを実施する。

### ロ 事業実施期間

平成23年度～平成24年度

### ハ 「地域重点分野における地域の取組」との連携方法

由布市は全国有数の温泉地として、多くの観光入込客を確保・維持しているが、観光の中心は湯布院地域の温泉めぐりや街並みの散策等となっており、他地域への広がりがみられない状況である。また、近年においては、本市には短時間しか滞在しない、いわゆる通過型の観光客の増加が懸念されている。このため、従来の温泉を中心とした観光に加え、当市の魅力を生かした新たな観光メニューの開発等が求められている。

当市内には、由布岳や黒岳など1,000メートルを超える山々の間に、棚田や牧草地が広がる美しい農村風景があり、これらを活用し、農村ツーリズムの振興を図ることが、当市の新たな観光オプションとなり、更なる観光客の増加と、湯布院地域以外への観光ビジネスの広がりを実現するものとして期待されている。

現在、市内には農家民泊や観光果樹園等の体験農場を営む者等が存在するものの、十分な数とは言えず、また、農村ツーリズムを理解し、温泉など他の観光資源と組み合わせて総合的にプロデュースできる人材等も不足している。このため、これらに必要なノウハウや知識を、新規就農や創業、また、ツーリスト等への就職を希望する地域求職者等に付与し、農村ツーリズムの担い手(体験農場、農家レストランを営む者等)やそれらをプロデュースできる人材(ツアー企画者、ツアー案内人等)の育成の取り組みを進める。

また、本市では新規就農者を支援するために、遊休農地や空き家等の情報提供やあっせんを行っており、当該セミナーとこれらの取組を併せて実施することにより、効果的な事業の実施が期待できる。

## ② 地産地消セミナー

### イ 事業内容

地産地消を促進するために必要な、地場農産品等の生産・流通・販売、消費に関する知識やノウハウを習得するためのセミナーを実施する。

### ロ 事業実施期間

平成23年度～平成24年度

### ハ 「地域重点分野における地域の取組」との連携方法

当市は、年間400万人を超える観光客が訪れる観光地であるとともに、農業

を基幹産業とする地域である。このため、農作物直売所を併設した「道の駅」や「里の駅」等を整備し、観光客や地域住民の双方をターゲットとした、地場農産品の地域内での販売の促進、いわゆる「地産地消」の推進に取り組んできたところである。これらの取組の結果、地場農産品の地域内消費は着実に進んできているが、今後これらの取組を更に推進するためには、地場農産品を直売所に出品する生産者等を増加させることや、市内に多く立地する宿泊施設や飲食店等での地場農産品の利用を拡大していくこと等が必要である。

このため、新規就農や宿泊・飲食企業、観光客等への就職を希望する地域求職者等に対し、地場農産品等の生産・流通・販売、消費に関する総合的な知識やノウハウ等を付与するためのセミナーを実施し、地場農産品の生産者と、地産地消の仕組みづくりをできる人材等の育成に取り組む。

また、本市では、地産地消を推進するために、前述のとおり農作物直売所を併設した「道の駅」と「里の駅」を設置しており、当該セミナーとこれらの取組を併せて実施することにより、効果的な事業の実施が期待できる。

### ③ 農産品加工セミナー

#### イ 事業内容

農産品の加工やブランド化に必要な知識やノウハウを習得するためのセミナーを実施する。

#### ロ 事業実施期間

平成23年度～平成24年度

#### ハ 「地域重点分野における地域の取組」との連携方法

前述のとおり、本市は、果樹、野菜の栽培や酪農等の農業を基幹産業としており、市内外に多くの農産品を出荷している。しかしながら、農作物の出荷は、価格の変動など経営的な不安定要素の大きい一次産品としての出荷が中心となっており、農業経営の安定化を図るためには、一次産品をより付加価値の高い加工品として出荷するなどの、経営の多様化が求められている。また、本市は、高いブランド力を誇る観光地「湯布院」としての地域イメージを有しており、それらを活用して、農産加工品等を生産・販売することが求められている。

このため、新規就農や食品加工、卸売・小売、宿泊・飲食企業等での就職を希望する地域求職者等に、農産加工品の加工やブランド化に必要な知識やノウハウを付与するためのセミナーを実施し、農産加工品の生産者と、それらを戦略的に販売できる人材等の育成に取り組む。

また、本市は、農産加工品の製造を推進するため、特定農業者による濁酒の製造（いわゆる「どぶろく」の製造）について特区の指定を受ける等の取組を行っている。当該セミナーとこれらの措置を併せて実施することにより、効果的な事業の実施が期待できる。

#### ④ 楽しい農業セミナー

##### イ 事業内容

新規就農希望者を対象に農業経営に必要な知識やノウハウを習得するためのセミナーを実施する。

##### ロ 事業実施期間

平成23年度～平成24年度

##### ハ 「地域重点分野における地域の取組」との連携方法

前述のとおり、当市は農業を基幹的な産業としているところであるが、農業分野では高齢化や後継者不足を要因に、農業算出額や耕地面積等が減少している状況である。当市は、恵まれた観光資源を活用して行う観光産業の振興や、近年では、人口50万人を有する大分市のベットタウンとして、大分市に隣接する地域での商工業の振興等にも取り組んできているが、当市の基幹的な産業は、あくまで恵まれた自然環境を活用して行う農業である。このため、農業の衰退は地域の全体の活力を失うことにつながるものであり、農業後継者の確保は重要な課題となっている。

このため、新規就農を希望する地域求職者等に対し、農業経営に必要な知識やノウハウを付与するためのセミナーを実施し、農業後継者の育成に取り組む。

また、当市では新規就農者を支援するために、遊休農地や空き家等の情報提供やあっせんを行っており、当該セミナーとこれらの取組を併せて実施することにより、効果的な事業の実施が期待できる。

#### ⑤ 流通戦略セミナー

##### イ 事業内容

地場製品の地域ブランド化や海外を含めた広域の販路開拓等を行うために必要な知識やノウハウを習得するセミナーを実施する。

##### ロ 事業実施期間

平成23年度～平成24年度

##### ハ 「地域重点分野における地域の取組」との連携方法

前述のとおり、当市は、高いブランド力を誇る観光地「湯布院」としての地域イメージを有しているところであり、地場製品の生産・販売を促進するためには、地場製品とこれらのイメージを結びつけて、販路開拓を行うこと等が重要である。しかしながら、現在は、一部の商品において、地域イメージを活用している事例がみられるものの、地場製品全般について十分に活用されている状況とはなっていない。

また、当市には、国内各地、また、近年においては、多くの外国からの観光客が訪れ、当市の知名度は海外も含めた広い範囲に広がりを見せているもの

の、地場産品の販路は近隣の限られた地域が中心となっている。

このため、卸売・小売、食品加工・製造企業等への就職、また、ネットショップの起業等を希望する地域求職者等に、地場産品の地域ブランド化や海外を含めた広域の販路開拓等を行うために必要な知識やノウハウを付与するためのセミナーを実施し、地場産品を戦略的に生産、販売できる人材の育成等に取り組む。

## ○地元企業から求められる人材育成事業

地元企業が必要としている人材を育成することで、雇用の促進を図る。講座の内容については、地元企業と協議・調整のうえで決定し、即戦力として働ける人材を育成する。

### ① おもてなし接客セミナー

#### イ 事業内容

外国人を含む観光客の接客等に必要な技術やマナーを習得するためのセミナーを実施する。

#### ロ 事業実施期間

平成23年度～平成24年度

#### ハ 「地域重点分野における地域の取組」との連携方法

当市は、前述のとおり、全国有数の温泉地として、多くの観光入込客を確保・維持しているところである。このため、宿泊・飲食、小売企業等に就職を希望する地域求職者等に対し、観光客の接客等に必要な技術やマナーを付与するためのセミナーを実施し、外国人を含む観光客等に対応できる人材の育成に取り組む。

### ② 菓子製造技術習得セミナー

#### イ 事業内容

菓子の製造に必要な知識や技術を習得するためのセミナーを実施する。

#### ロ 事業実施期間

平成23年度～平成24年度

#### ハ 「地域重点分野における地域の取組」との連携方法

当市では、スイーツ等の製造に適した冷涼な気候と、高級保養地としての地域イメージを活かし、様々な菓子が製造されている。これらの分野では、ヒット商品が生まれるなど、今後、更なる規模の拡大が期待されているところであり、菓子を製造する職人の育成が求められている。

このため、当該分野への就職や創業等を希望する地域求職者等に対し、菓子の製造に必要な知識や技術を付与し、菓子職人の育成に取り組む。

### ③ ビジネスマナーセミナー

#### イ 事業内容

職業の基本となるビジネスマナーを習得するためのセミナーを実施する。

#### ロ 事業実施期間

平成23年度～平成24年度

#### ハ 「地域重点分野における地域の取組」との連携方法

当市の若年層の求職者は増加傾向にあり、これらの者の中にはビジネスマナーの不足等が要因となり、失業期間が長期化している者も存在する。このため、主として若年求職者を対象に、職業の基本となるビジネスマナーを付与するためのセミナーを実施し、市内の企業への再就職を促進する。

### 3) 就職促進メニュー

地元企業と求職者を一堂に介した説明会の開催やホームページで雇用・求人情報の提供や相談会等を実施し地域の雇用創出を図る。

## 5-3-2 支援措置によらない独自の取り組み

### I 道の駅特産品販売所整備事業

各地域から訪れる人々に対しての、由布市の窓口として「道の駅ゆふいん」の更なる活用を検討し、観光地湯布院の情報発信のほか、地域特産品販売の拡大や特産品販売の強化をめざす。

### II 里の駅整備事業

地域に密着した里の駅として、由布市産農作物等を活用した料理の提供や、加工品販売、ブランド化に力を入れることで、里の駅の魅力をアップさせ、地元の住民や観光客利用者数の増加を進める。今回の事業によって育成した人材の雇用の受け皿としても期待できる。

### III 集落営農組織育成事業

集落営農法人を各地域に浸透させ増加をめざす。遊休農地の解消や、共同機械の導入を進めて、高齢化社会でも安定して農業生産ができる仕組みを整える。当該事業との連携で、農業生産法人の更なる立ち上げや、農業法人への就農を推進する体制づくりを進める。

### IV ブランドを育む園芸産地整備事業

高所得型の施設野菜や果樹等の栽培を振興して、企業的農家の規模拡大を進めることにより雇用拡大にもつなげる。



## V 田舎で暮らし隊事業

小規模集落において、地域力の維持・強化を図るためには、担い手となる人材の確保が特に重要である。一方都市部では、豊かな自然環境や歴史、文化等に恵まれた地域で生活することや地域社会へ貢献することについてのニーズが高まっている。そこで、地域社会の新たな担い手を外部から積極的に誘致し、その定住・定着を図ることによって、都市住民のニーズに応えながら、小規模集落の地域力の維持・強化を図る。

## 6. 計画期間

認定を受けた日～平成25年3月31日まで

## 7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、由布市の関係部局において毎年必要な調査を行い状況を把握し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討を行うこととする。

## 8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし